



まちを移動する自動車群のような4つの量塊

株式会社 札幌ワシダは、札幌市豊平区の国道36号線沿いにある中古車販売センターです。設計にあたり、まちを軽やかに移動する自動車群のような4つの量塊が連続する空間、また、敷地の奥行方向を強調するよう、通りに対して直交する建築の形態を想像しました。そのイメージから、「自動車に乗っているような地面から浮いた感覚」がテーマとして導き出されました。

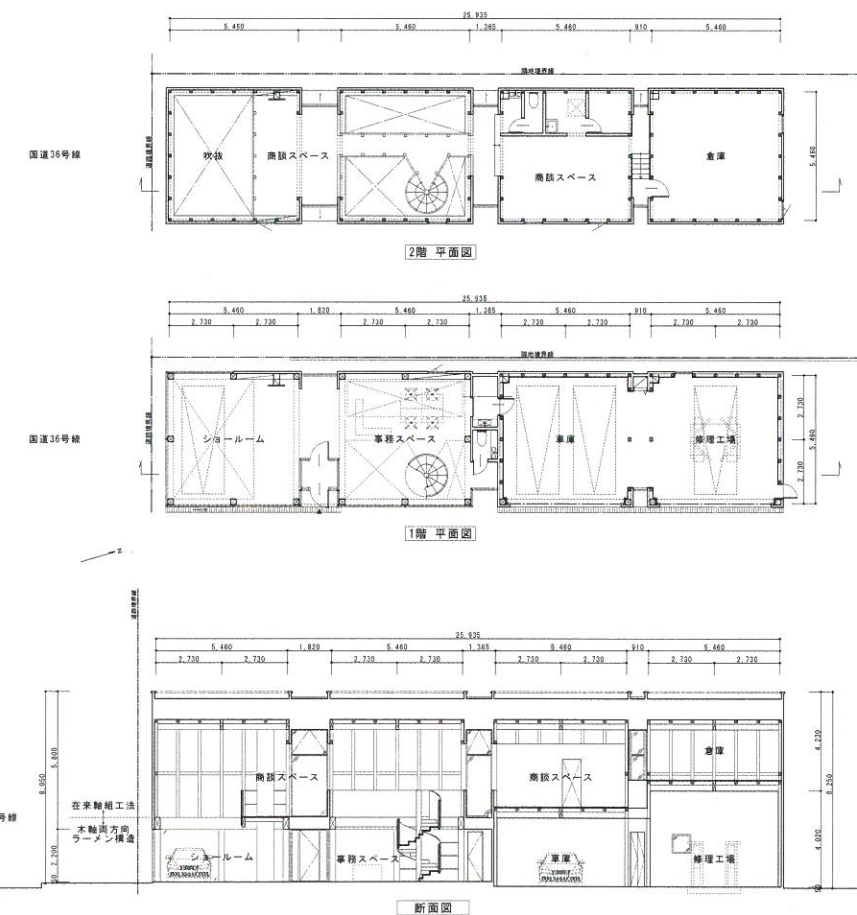
その主題を実現するために、地面に接する1階は極力軽くする

必要があったので、一切の斜材を排した大断面の木軸両方向ラーメン構造を採用することで、まちと建築がダイレクトに繋がる開放的なショールームとしました。逆に2階は静かに商談ができるよう、構造壁を必要とする在来軸組工法を採用し、落ち着いた空間となりました。

この上下二つの異なる構造的な差異をわかりやすく表出するために、全ての材料を「現し」にすることで構造の成り立ちが一目で感じられる空間を標榜しています。

03 株式会社 札幌ワシダ 新社屋

1階はラーメン構造、2階は在来軸組工法。2つの構造の差異を一目で感じられる空間



《建物概要》

株式会社 札幌ワシダ 新社屋

- ・設計者：島中 秀幸 × Studio Sinfonica
(株) 都市構造研究所
- ・施工者：(株) ベストホーム
I・Rホーム (株)



[右写真] まちとダイレクトに繋がるショールーム
[左写真] 静かで落ち着いた商談スペース